

第四回農業観光祭

麻生町報

発行所
麻生町役場
麻生町42番地
発行人
高野勝
印刷所
麻生印刷所

才四回農業観光祭は、11月14日から16日までの三日間、麻生町公民館の農産物品評会場を中心に、多彩な行事を展開し盛大に挙行政され、最終日の16日午後一時から、たばこ収納所で賞品授与式を行つて、三日間の幕を閉じた。



帝都一流演芸会に集まつた人・人・人

農業観光祭を省みて

勝

職務に追われている私は、こげます。とあるごとに、皆さんとの接このたびの行事、とくに十五触の機会を多く望んでいるの日の行事については相当の時ですが、みなさんと一緒に一問的無理があつて、全会場に日を一リク
リエーシ
オンで楽
しみたい
といふ平
素の願ひ
がかない、町を挙げての農民出席出来なかつた方も御座りたことをごさしていただきま
愉快にすごさしていただきま
したことを心からお礼申し上げた一日だつたと確信していま

今年度の体験を生かし、来年も同じコースで進めたいと存じていますので、御協力をお願い申し上げます。
なお、御協力をいただきました各種団体、各種機関に改めて紙上をお借りして御礼申し上げます。

快晴にめぐまれた農業観光祭

全町人・人・人にうづまる

台風二十号も沖縄の南を通過心配した天候も、三日間の青空にめぐまれ、農業観光祭には最良の日、会場はどこもこも人の波、道路も思つたように歩けないほどで、商店街

国保の歩み

三十三年度

社会保障のひとつとして重要な役割を担っている国民健康保険も、おかげをもつて順調な歩みが続け、今年度四年目になりました。
一家の経済にもつとも影響するものは医療費であります。この軽減を計ることは、なによりも必要なことです。人生の幸福は健康が第一であり、医療費の軽減を計ることが町の理想であり、保険課の使命であります。
幸い本町の国民健康保険は全町実施以来今日まで、みなさま方の深い御理解と御協力により大過なく歩んでまいりました。昭和三十三年度の運営状況をあらわすと、今後はとも国民健康保険のよりよい運営のため皆様方の御協力をお願い申し上げます。

保険給付状況 33.41~34.3.31

	件数	日数	費用額	1件当 日数	1件当 費用額
入院	845	13,247	5,820,081	15.6	6,688
入院外	24,834	86,278	16,101,857	3.4	684
歯科	4,299	14,348	3,533,302	3.3	822
療養費	248	5,001	1,426,158	20.1	5,751
計	30,226	118,874	26,881,398	3.9	889

大和三小上棟式

十一月十四日、大和才三小学校校舎の上棟式は、高野町長、永作議長、佐藤建築設計士、来校のもとに盛大に挙行政された

餅美談

大和三小上棟式にあつて、地元家庭より餅米を寄附しあつて、ぐし餅をついたが、大和P・A四校連絡協議会ではヒゲ餅二個を、送りとどけお祝した。

今月の税

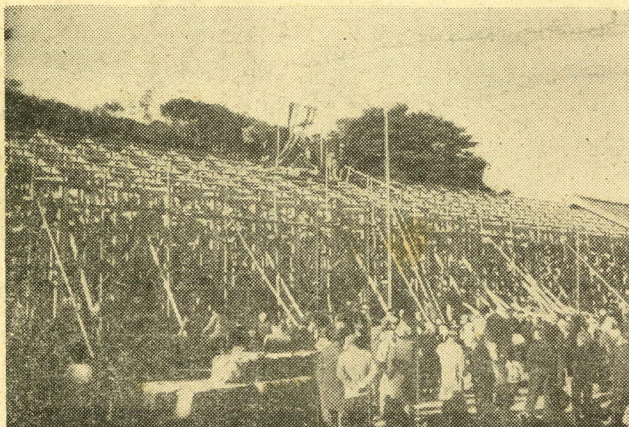
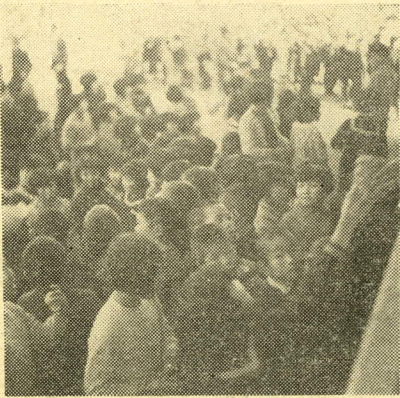
町県民税(才3期)

11月30日まで

納税貯蓄組合を御利用ください

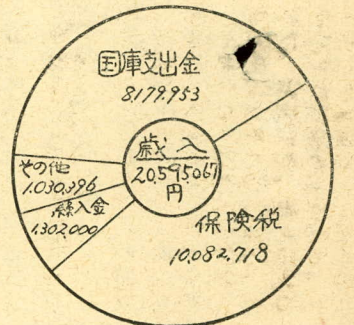
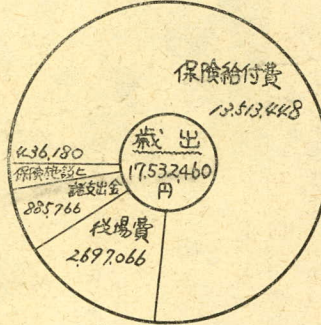
10月末日人口

	男	女	計	世帯数
麻生地区	2,942人	3,078人	6,020人	1,117
太田地区	1,243	1,236	2,479	388
大和地区	2,729	2,983	5,712	916
行方地区	1,392	1,502	2,894	496
小高地区	1,921	2,019	3,940	686
計	10,227	10,818	21,045	3,603



上 先生からひとりひとり餅を手渡され喜ぶ子供たち

下 上棟に今か今かと待つ間ももどかしい



昭和三十二年に比較すると出生において三六人増加して死亡において一名減少しています。三年後には百戸位の部落が一つ誕生する計算になります。助産費及び葬祭費の支給総額は二六九、〇〇〇円であり、その医療費は一、四八三円となります。

以上いろいろ申し上げましたが、良い国保の運営は、まづ第一に財政の確立、いかにすれば保険税を完全におさめることこそ国保事業の発展にあるので、一家の運営も町政の運営と理は同じであります。今後町が歩む国保の前途には苦難の道が多いと思ひますが、一致協力、そして健康で明るい生活環境を築くため国保事業に被保険者各位の御協力を切望してやみません。

町民体育祭

子供にかえつた

お母さん

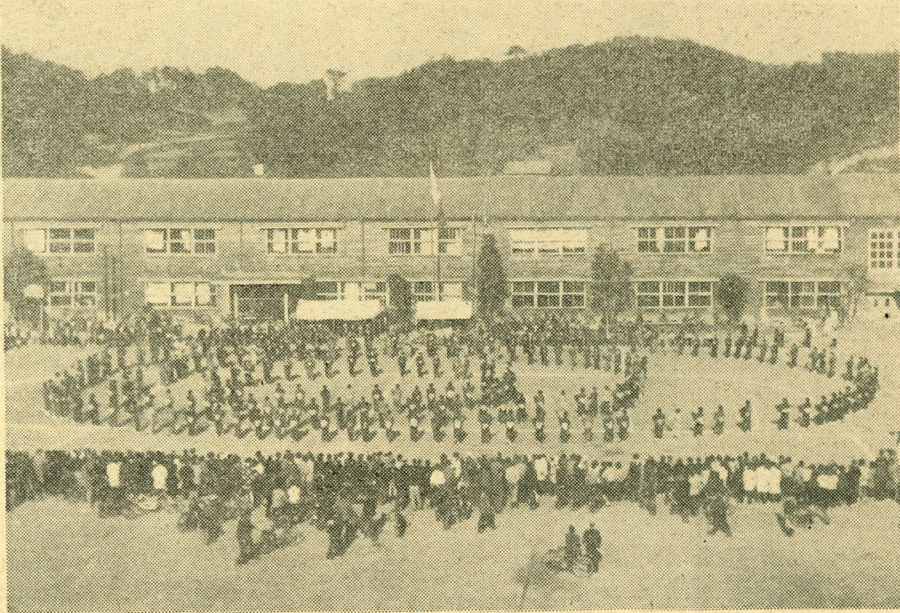
写真 ヨサコイ、ヨサコイ、レコードが聞えるようです。

今回の農業観光祭にとくに織りこまれた町民体育祭は、人の和をモットーに、各種団体各種機関の人たち、それに一般の人には出場の制限はありませんが、町民体育祭という名にそむくことなく和気あいあいのなかに、ゲームを進めて行きました。

午前午後と二回にわたって婦人会のお母さん方によつてグラウンド一杯に、くりひろげられた「南国土佐を後にして」の民謡踊りは、当日の圧巻でした。

胸わくわく、着飾つたお母さん方が、小学生の時代に返つて幾分上気したほほを風にふかれて、足どりも軽く、いつまでも、いつまでも踊つていたいようでした。

各種団体や学校対抗のレースも力の入つた見事な競技で、その応援も大変なものでした。中でも目立つたもののひとつは麻生中学校生徒の体操は体育に対する理解と今後の町民のスポーツ向上に役立つものとして大変結構でした。



農機具展示会

下 展示会場にて

日進月歩の農機具

農機具

麻生小学校に特設された展示会は、出品店ごとと整然と企画された店舗で造られ、広い校庭がうづめられた。

昨年展示の折に、改良新歩が著しく感ぜられた農機具が、今年はその上に改良されて、今さらながら日進月歩の感を深くしました。その上売約済の札が、どの機械にも機械にも張られ、農家の機械購買意欲には感心されます。



耕うん機競技

天王崎に展開された、耕うん機競技会は、昨年の牛馬耕より一歩進んで、近代農業の花型動力耕うん機で選手十一名によつて火ぶたを切つた。ひつじつ穂の田圃に引かれた白線の中に、発動機の音が秋空にこだまする、競技者の一人一人、汗だくだく、応援者も我を忘れ白線内に入つて声援、天王崎路上は真黒な人のかき近代的農機具は如何なく機動力を発揮して行く。

×
×

特別賞の

鴨下行孝君に抱負を聞く。

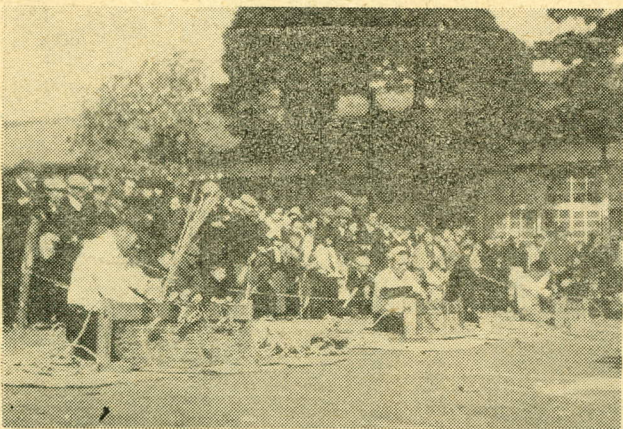
日本農業は経営、技術など曲り角にきている。といわれているなかで、今日のはえある特別賞を、それも五つも獲得した藤井久保の鴨下行孝君にその努力を尋ねてみた。

「近年農業技術の進歩につれて農産物の多収穫を見ていることは、私達農民にとつて誠に喜びに堪えないところであります。然しながら生産物の管理と販売価値を高めるためには包依改善等もこれと併行して改良されるべきで、両面の工夫をこらしてこそ、生産物の価値が高度化される以所であると思ひますので、今回の優賞の榮譽をけがさないように今後益々精進する考えであります。」

以上のように、話をきいてもいかに農事に熱心であるかがうかがわれ、今回の優勝も日頃の努力が実を結んだものと思われまふ。

依装は規格どおりに、そしてきれいに仕上げて商品価値を高めることに心がけねばなりません。

依装競技会



上下 競技場の各選手

手さばきあざやか

審判長のきびしい注意のもと、幼稚園ひろばに展開された依装競技は、各地区出身の、依装のつわものども九名によつて戦闘開始、昨年とちがつて、編み上げた依に米をつめ、依装後の品位まで審査するとあつて選手一同、緊張この上もな

「救援物資」

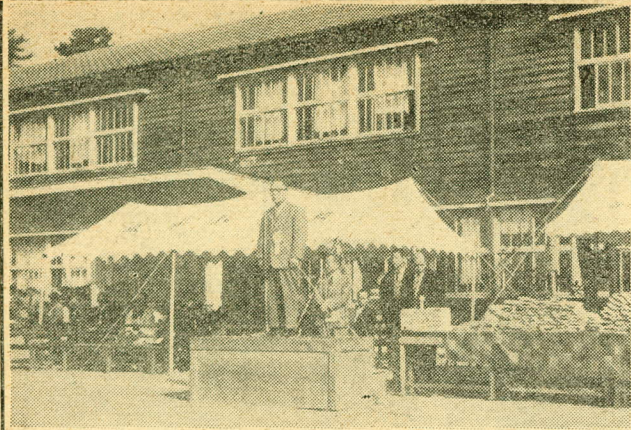
役場委託者氏名

伊勢湾台風救援物資は各位の御同情あふるお見舞と数々の義捐金品を寄せられ厚く御礼申し上げます。役場を通して寄託せられた氏名及び団体は左の通りです。

衣料一〇〇点 新井田新助
六〇点 高崎 彌生
四、五〇〇円 一九三三
六三〇円 麻生町職員組合
八〇五円 古宿母の会
七〇〇円 麻生中学校
書籍二冊 下淵母の会
二、六六五円 小高中学校
衣三三冊 太田小学校
三冊 玄通母の会

編集後記

◎今月号は、農業観光祭号になりましたが、都合で参観出来なかつた方や、一会場での他の会場に行けなかつた人にもう一度町のお祭を紙上再現して、幾分でもお祝をわち合うよう編集しました。



(会長あいさつ)

俳句会

久に來し郷里は

白魚りまきころ

俳句会が十五日午後一時から菊花展示会場で催された。佐原市や稲敷地からも同好者が加わつて実に盛会を極め、すぐれた作吟を盛り立てて農業観光祭の一ページに光彩を添えた。

選者吟

「豆菊の
みな白にして
垣づくり」
「茸狩りの

一位 布施耕一郎
二位 辺田夕峰
三位 高野敏子
四位 井坂景秋
五位 山野双葉子
六位 柳町さかん
七位 千葉静枝

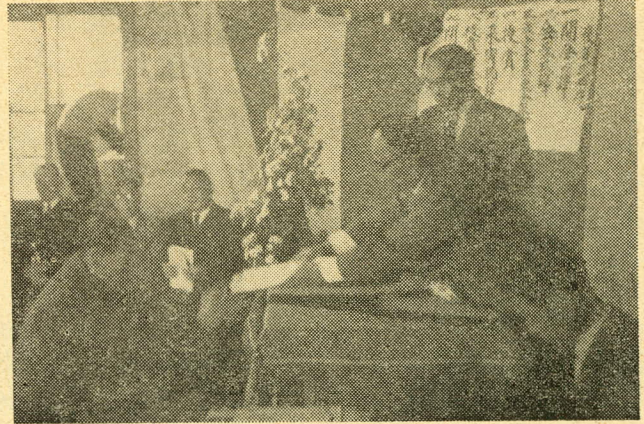
相馬柳堤先生選(席題)

波の寄る麻生下町 湖稻
やぶしらみ
大根舟着き帆曳船 晴路
出るところ
久に來し郷里は白魚
うまきころ 福寿草
冬空にボブラの尖る
湖の町 とし子
人垣の後より菊
さしのぞき 耕雲

感激にわく 表彰に喜ぶ人々

農業関係表彰式は、十六日午後一時、たばこ耕作組合収納所で開式、高野町長あいさつについて表彰に移った。

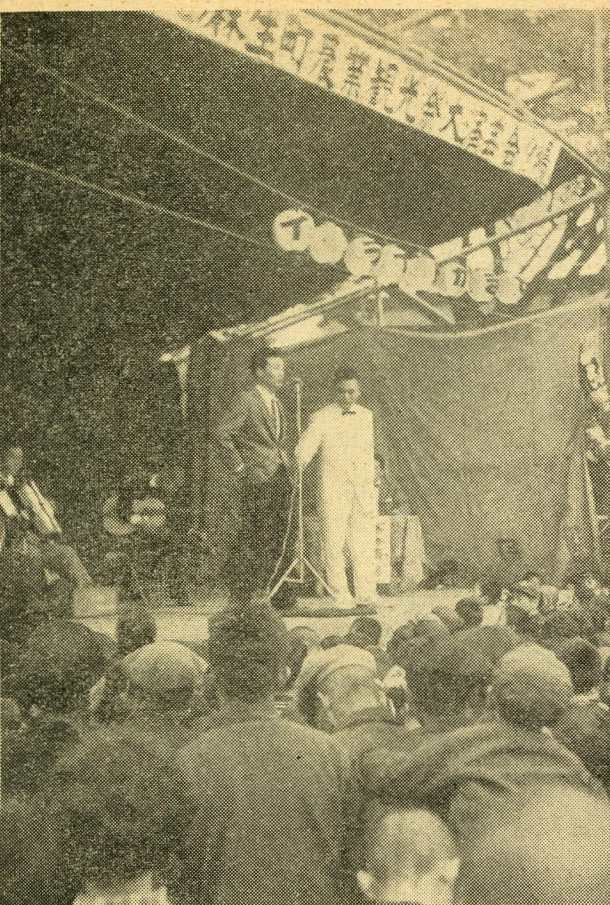
受賞者は、いずれも喜びをかくしきれぬ様子、順を追って山と積まれた賞品は各優秀者に渡される。ついで特別賞の受賞にうつり、各関係者または代理者から表彰状をうけ、最後に、大久保代議士ほか多数の来賓の方々から、お祝の言葉や花をいただき厳肅に表彰式を終った。



帝都一流演藝会に 幼稚園ひろばがつしり

衣装競技会の終るのを待ち切れないうで、假設舞台には、宮田陽司、宮田昇司両司会が競技会をリードしながら、帝都一流演芸会びらきを知らせる上手に観衆を引きずりつて行くのに感心、

競技会成績発表に集った観衆も思わず舞台に吸い寄せられ



—— 菊を麻生町花に —— 蓮城院は花ざかり

菊花を町花にしようとする麻生町菊の会のみなさんの努力の結果、蓮城院で開催されている菊花展示会は、好評裡に続けられています。

八日朝から審査長田中量空先生、副審査長平野千里先生により審査の結果、次の方々が受賞されました。

競技花厚物 (新世紀)

優等首席 富田 吉崎美佐雄
一等首席 関 悦之助
二席 麻生 堀井 三男
三席 富田 鈴木定五郎
競技花細物 (初小袖)



菊花展示会場の一部

一等首席 麻生 森 武恵門
二席 大崎 静
三席 高野 貞蔵
優等首席 盆 栽 (特別花を含む)
麻生 森 武恵門

乙姫 富田 山本國太郎
一等首席 富士山
二席 懸 崖
優等首席 麻生 永作徳次郎
二席 森川喜左衛門

農業観光祭を今後の 経営に生かそう

才四回農業観光祭と銘うつて開催された、今回の行事を振り返って、私達の今後の生計や経営に役立たせる糧(かて)として考えをまとめてみましょう。

◎農機具の利用

従来、人手ばかりかかり、能率のあがらない農作業も、お金のかからない、ちよつとした工夫(くふう)で改良して、骨を折らずに仕事をしましう。農機具の置き場所を便利のよい所に、まとめて置きます。経済的余裕があれば、各々の経営にしくりした使用よい農機具を購入しましょう。購入にあたっては、あととの維持費にも心掛けておきま

つたことと、耕作技術の向上が、うなづけました。

可愛い子供さんが、真赤に色づいた柿を、ひとつずつ指でさわるのには、閉口係員が注意しても、次の女の子、男の子、次の次次のと、みんなさわるので九五点の柿は、どれもこれもやわらかく、うんでしまうさわぎ

とにかく、人におされて、自分の出品物が、どこにあるかとうとう、わからぬ仕舞、そうかと思うと、入選者は、一日に何回もまわつて来て、自分の入選作をながめ、にこつと笑つて去る様子、

十六日午後三時即

とされています。けれども、今回の出品者には、今年始めて菊造りをされた方もおりま

す。そして立派な花を咲かせています。素人でも造れるのです。先輩の指導によつて立派なものを造るため今から心掛けてください。

体育祭には
活動出来る身仕度で

これは、お母さん方に希望します。民謡踊りの服装だけでなく、長い着物では、なんとも動きがとれなくて困ります。もんぺかズボンを持つてくれれば良かったという声を聞きました。

表彰式には必ず参列
入選、入賞には役場から通知が行きますが、都合のつき次第、出席して栄誉ある表彰を自ら受賞してください。

大久保代議士は来賓のあいさつで次のように申しています。『私は都会に住んでいて、田舎の人の顔を特に見て、都会の人の顔はなんともなく、この表参道に参列された方、彰者の顔は都会で育ち、あつて誠に心強く感じます。』

売、丹精された作品が、町の人に買われて食卓にのり、おいしく食べられるよう、お祈りしました。



農産物品評会

常日頃の腕によりをかけて、農家のみなさんの丹精になった農産物出品点数は、四九二点に及び、陳列の係員も、配置場所



準備中の会場
上中下 {会場全景}

